

消化管用内視鏡 仕様書

1. 上部消化管用 細径処置用スコープ
2. 下部消化管用 汎用拡大スコープ

1) 背景および目的

2) 品名及び構成内訳

消化管用内視鏡
(構成内訳)

- | | | |
|----|------------------|----|
| 1. | 上部消化管用 細径処置用スコープ | 1本 |
| 2. | 下部消化管用 汎用拡大スコープ | 1本 |

3) その他

1. 入札機器のうち医療用具に関しては、入札時点で薬事法に定められている製造承認を得ている物品であること。
2. 納入時における全てのハード及びソフトウェアは最新バージョンで提供すること。

4) 仕様

上部消化管用 細径処置用スコープ

- 1 性能・機能について、以下の要件を満たすこと。
 - 1-1 既設機器に接続が可能で、シャッター機能を有していること。
 - 1-2 イメージセンサーにCMOSセンサーを搭載していること。
 - 1-3 視野角は140°、観察範囲は、2～100mmであること。
 - 1-4 先端部径は、 $\phi 7.9\text{mm}$ 以下であること。
 - 1-5 有効長は、1,100mmであること。
 - 1-6 全長は、1,400mmであること。
 - 1-7 鉗子口最小径は、 $\phi 3.2\text{mm}$ であること。

下部消化管用 汎用拡大スコープ

- 2 性能・機能について、以下の要件を満たすこと。
 - 2-1 既設機器に接続が可能で、シャッター機能を有していること。
 - 2-2 イメージセンサーにCMOSセンサーを搭載していること。
 - 2-3 視野角は、標準:140° 近接:56° であること。
 - 2-4 観察範囲は、標準時:3～100mm・近接時:1.5～2.5mmであること。
 - 2-5 先端部径は、 $\phi 11.7\text{mm}$ 以下であること。
 - 2-6 有効長は、1,330mmであること。
 - 2-7 全長は、1,650mmであること。
 - 2-8 鉗子口最小径は、 $\phi 3.2\text{mm}$ であること。